

AXIS Q6086-E PTZ Camera

4メガピクセル、優れた光感度を備えた代表的なPTZ (パン/チルト/ズーム)

AXIS Q6086-Eは、光感度が極めて高い1/2インチセンサー、34倍光学ズーム、レーザーフォーカスを搭載しています。ARTPEC-9をベースに構築されており、AV1コーデックに対応し、エッジで高度な分析アプリケーションを実行するための高速パフォーマンスを提供します。たとえばAXIS Object Analyticsを使用すると、移動する物体の検知と分類ができます。IP66、IK10、NEMA 4x、NEMA TS2規格に準拠したこのカメラは、耐衝撃性と耐候性を備えています。また、AV1、H.264、H.265対応のAxis Zipstreamにより、帯域幅とストレージの要件を大幅に削減できます。さらに、Axis Edge Vaultが装置を保護し、機密情報を不正アクセスから保護します。

- > 高感度の1/2インチセンサー
- > Lightfinder 2.0およびForensic WDR
- > AIを活用した次世代の分析機能
- > 精密なレーザーフォーカスと34倍光学ズーム
- > 内蔵サイバーセキュリティ「Axis Edge Vault」



AXIS Q6086-E PTZ Camera

カメラ

イメージセンサー
1/2"プログレッシブスキャンRGB CMOS
ピクセルサイズ: 2.9 μm

レンズ
バリフォーカル、6.64~225.5 mm、F1.7~5.1
水平画角: 61.5° ~2.0°
垂直視野角: 37.3° ~1.1°
最短フォーカス距離: 3 m (9.8 ft)
レーザーフォーカス、オートフォーカス、Pアイリス

デイナイト
自動IRカットフィルター

最低照度
カラー: 0.07ルクス (30 IRE、F1.7)
白黒: 0.005ルクス (30 IRE、F1.7)
カラー: 0.1ルクス (50 IRE、F1.7)
白黒: 0.009ルクス (50 IRE、F1.7)

シャッター速度
1/49500秒~2秒

パン/チルト/ズーム
パン: 360° エンドレス、0.05~500° /秒
チルト: 0~-90°、0.05° ~500° /秒
ズーム: 光学34倍、デジタル12倍、合計408倍ズーム
天底フリップ、300個のプリセットポジション、ツアー録画 (最大10個、最大期間各16分)、ガードツアー (最大100個)、コントロールキュー、画面上での方向表示、Orientation aid PTZ、新しいパン0度の設定、ズーム速度の調整

システムオンチップ (SoC)

モデル
ARTPEC-9

メモリー
4096 MB RAM、8192 MBフラッシュ

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline、Main、High Profile
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
AV1
Motion JPEG

解像度
2688x1512 (4メガピクセル) ~640x360

フレームレート
すべての解像度で最大50/60 フレーム/秒(50/60 Hz)
自動切り替え

ビデオストリーミング
最大20の設定可能でユニークなビデオストリーム¹
Axis Zipstream technology (H.264、H.265、AV1)
フレームレートおよび帯域幅の制御
VBR/ABR/MBR H.264/H.265/AV1
低遅延モード
ビデオストリーミングインジケーター、

WDR
Forensic WDR:最大120 dB (撮影シーンによる)

ノイズリダクション
空間的フィルター (2Dノイズリダクション)
時間的フィルター (3Dノイズリダクション)

画像設定
彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、昼/夜閾値、ローカルコントラスト、トーンマッピング、露出モード、露出ゾーン、デフォグ、圧縮、テキストおよび画像オーバーレイ、オーバーレイウィジェット、モザイクおよびカメレオンプライバシーマスクを含む100個の個別ポリゴンプライバシーマスク、絞りロック、対象絞り
シーンプロファイル: 屋外、屋内、フォレンジック、トラフィックオーバービュー、ナンバープレート

画像処理
Axis Zipstream、Forensic WDR、Lightfinder 2.0

音声

ポートキャストテクノロジーアクセサリまたはエッジツーエッジペアリングによる入力と出力。詳細情報については、オプションアクセサリおよびEdge-to-edgeをご覧ください。

1. ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS²、HTTP/2、TLS²、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、PTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、NTP、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、Link-Local address (ZeroConf)

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX[®]、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)
ワンクリックによるクラウド接続
ONVIF[®] Profile G、ONVIF[®] Profile M、ONVIF[®] Profile S、ONVIF[®] Profile T (仕様についてはonvif.orgを参照)

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、およびaxis.com/vmsで入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール

プライバシーマスク
ダイナイトの切り替え
クイックズーム
自動追跡 (オートトラッキング)
デフォグ機能
ヒーター
Orientation aid
メディアクリップ

エッジツーエッジ

スピーカーのペアリング
レーダーペアリング

イベント条件

デバイスステータス: 動作温度範囲を上回ったとき/下回ったとき/範囲内、ファン不具合、IPアドレスブロック/削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、衝撃検知、システムの準備完了
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O: 手動トリガー、仮想入力有効
MQTT: MQTTクライアント接続
PTZ: PTZコントロールキュー、PTZ動作不良、PTZ動作、PTプリセットポジションに到達、PTZ準備完了
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール
ビデオ: 平均ビットレート低下、デイナイトモード

イベントアクション

デイナイトモード
デフォグ機能
ガードツアー: ルールが有効のとき、ガードツアーを実行する、ガードツアーを開始する
ガードツアー (記録済み): ルールが有効のとき、記録済みのガードツアーを実行する
MQTT: MQTT公開メッセージを送信
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
オーバーレイ (テキスト)
プリセットポジション: プリセットポジションへ移動する、ルールが有効のとき、プリセットポジションへ移動する
録画: ビデオを録画、ルールが有効な間にビデオを録画
セキュリティ: 設定の消去
SNMPトラップメッセージ: 送信、ルールがアクティブな間に送信
トラッキング: 一時的な検知を開始する、ルールが有効のとき、オートトラッキング/オートトラッキングプロファイルを切り替える
画像またはビデオクリップ: FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール
WDRモード

設置支援機能内蔵

ピクセルカウンター、レベルグリッド

分析機能

アプリケーション

同梱
AXIS Object Analytics、AXIS Image Health Analytics、AXIS Scene Metadata、AXIS Video Motion Detection、autotracking、active gatekeeper
サポート
AXIS People Counter
AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acapを参照)

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org)によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com)によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

AXIS Object Analytics

物体クラス: 人間、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク、その他)

シナリオ: ライン横断、物体の対象範囲への侵入、領域内の滞留時間による検知、クロスラインカウント、エリア内の混雑状況、共連れ検知、PPE監視^{BETA}、エリア内の動き、ライン横断の動き

最大シナリオ数は10本まで

その他の機能: 軌跡、色分けされた境界ボックスおよびテーブルで視覚化されたトリガー物体

対象範囲と除外範囲

奥行きの設定

ONVIF動体アラームイベント

AXIS Image Health Analytics

Detection settings (検知設定):

いたずら: ブロックされた画像、リダイレクトされた画像

画像劣化: ぼやけた画像、露出不足の画像

その他の特徴: 感度、検証期間

AXIS Scene Metadata

物体クラス: 人、顔、車両 (種類: 車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート

物体属性: 車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション

認証

製品のマーキング

CE、FCC、ICES、KC、VCCI

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2

オーストラリア/ニュージーランド:

RCM AS/NZS CISPR 32 Class A

カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A)

日本: VCCI Class A

韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A

米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

鉄道: IEC 62236-4

安全性

CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 3、IEC/EN/ 60825-1 Class 1、IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、RCM AS/NZS 62368.1:2022

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66/IP67、IEC/EN 62262 IK10、ISO 21207 (Method B)、ISO 12944-6: C5、NEMA 250 Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)、MIL-STD-810H (Method 501.7, 502.7, 506.6, 507.6, 509.7, 512.6)

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS 140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-3レベル3)

ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム

安全なキーストア: セキュアエレメント (CC EAL 6+、FIPS 140-3 レベル3)、システムオンチップセキュリティ (TEE)

AxisデバイスID、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)³、IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS³、TLS v1.2/v1.3³、Network Time Security (NTS)、X.509証明書 PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化

AXIS OSハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

IP66、IP67、NEMA 4X、IK10規格準拠

ハードコーティングされたポリカーボネートドームアルミニウムケース

カラー: 白 NCS S 1002-B

再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、axis.com/warranty-implication-when-repaintingにアクセスしてください。

3. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

電源

カメラの消費電力を最適化する機能:

IEEE 802.3bt、Class 6

フルパワー:標準10 W、最大51 W

低電力(ヒーターオフ):標準10 W、最大25.5 W

IEEE 802.3bt、Class 4

フルパワー:標準10 W、最大25.5 W

低電力(ヒーターオフ):標準10 W、最大25.5 W

機能: ダイナミック電力モード、低電力モード、電力メーター

コネクター

ネットワーク:RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE

RJ45 Push-pull Connector (IP66/IP67)

ストレージ

SD/SDHC/SDXCカードに対応

SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)

NAS (Network Attached Storage) への録画

推奨されるSDカードとNASについては、axis.comを参照

動作温度

最大電力の温度 (60 W):-50°C~55°C (-58 ° F~131 ° F)

最大電力の温度 (30 W):-20°C~55°C

低電力の温度 (30/60 W):-20°C~55°C

NEMA TS 2 (2.2.7) による最高温度:74°C (165 ° F)

極寒温度管理機能: -40 °C (-40 ° F) の低温下で起動可能

湿度:10~100% RH (結露可)

保管条件

-40°C~65°C (-40 ° F~149 ° F)

湿度: 5~95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

有効投影面積 (EPA): 0.046 m² (0.5 ft²)

重量

4100 g (9 lb)

パッケージ内容

カメラ、ウェザーシールド、インストールガイド、90 W Midspan (電源ケーブル付属)⁴、RJ45 Push-pull Connector (IP66)、所有者認証キー

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセクター、アクセサリセクター、レンズカリキュレーター

axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語(簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語(繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

ソフトウェアサポート

2030年まで新機能展開 (AXIS OS 12、13、14)

2035年12月31日までサポート (AXIS OS LTS 2030-2035)

AXIS OSのライフサイクルについては、help.axis.com/axis-osをご覧ください

製品番号

axis.com/products/axis-q6086-e#part-numbersで入手可能

オプションアクセサリ

ポートキャスト

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

設置

AXIS T8415 Wireless Installation Tool

取付

AXIS T91/T94/TQ Mounting Accessories

ストレージ

AXIS Surveillance Card

スモークドーム

その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-q6086-e#compatible-productsをご覧ください

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)

RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863、規格EN IEC 63000:2018に準拠

REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

再生可能な炭素系プラスチックの含有率:71% (再生プラスチック:1%、バイオ系:70%)

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

4. AXIS Q6086-E NMには含まれていません

環境責任

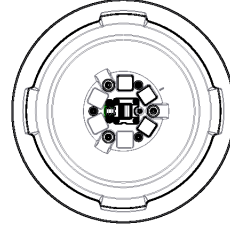
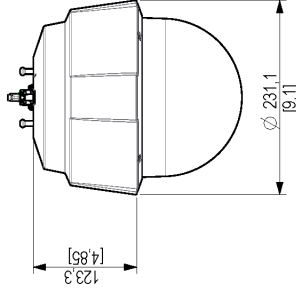
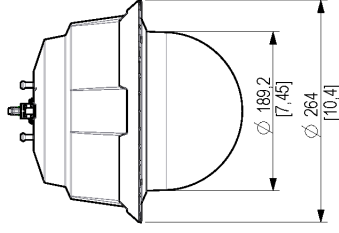
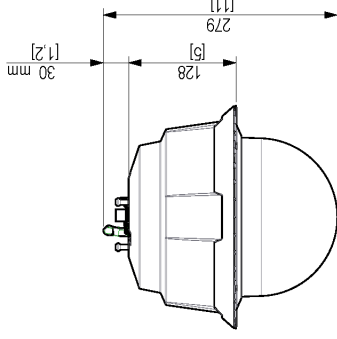
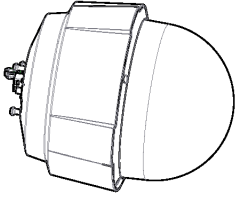
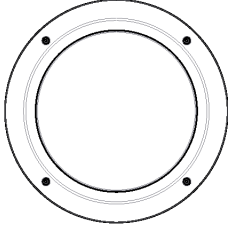
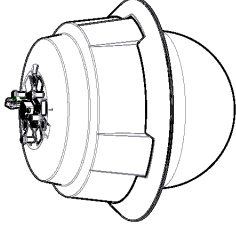
axis.com/environmental-responsibility

Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

検知、監視、認識、識別 (DORI)

	DORIの定義	距離 (広角)	距離 (望遠)
検知	25 px/m (8 px/ft)	92.6 m (303.7 ft)	3118.4 m (10228.4 ft)
観察	63ピクセル/m (19ピクセル/ft)	36.7 m (120.4 ft)	1237.5 m (4059.0 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	18.5 m (60.7 ft)	623.6 m (2045.4 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	9.3 m (30.5 ft)	311.8 m (1022.7 ft)

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。



Dimensions in mm [inch]	
Date	Version
2025 Apr-11	M1.3
Drawing number	Sheet
3199527	A3
	1(1)

SCALE 1:5

Q608X PTZ Camera



© 2025 Axis Communications AB. All rights reserved.

注目の機能

AV1

AV1は、Alliance for Open Media (AoM) によってインターネットを介したビデオ伝送用に最適化された最新のビデオエンコーディング規格です。ロイヤリティフリーでオープンソースのコーデックで、H.264 (AVC) や H.265 (HEVC) などの従来のコーデックよりも優れた圧縮効率を提供するように設計されています。

AXIS Object Analytics

AXIS Object Analyticsはプリインストールされたマルチフィードビデオ分析機能です。人、車両、車両タイプの検知と分類を実行します。AIベースのアルゴリズムと行動条件のおかげで、シーンとその中の空間的な動きを分析できます。お客様固有のニーズに合わせて設定をカスタマイズ可能です。拡張性が高くエッジベースであるため、最小限の設定により、同時に実行されるさまざまなシナリオに対応できます。

レーザーフォーカス

レーザーフォーカスは、オートフォーカスのみを搭載したカメラよりも、さらに高速でフォーカスを合わせることができます。低光量または低コントラストのシーンなど、厳しい照明条件下でもフォーカスを合わせることができます。すぐに利用することができるこの機能は、設定やプログラミングを必要としない完全な自動化ソリューションです。カメラの電源を入れると、すぐにレーザーフォーカスが作動します。レーザーフォーカス機能には、基準点を提供することでフォーカスをアシストするレーザーが含まれています。レーザーモジュールは送信機と受信機を備えています。送信機から放射されたレーザー光線は、物体に当たって跳ね返り、受信機に戻ってカメラにフォーカスの基準点を提供します。レーザーフォーカスの赤外線は、波長905nmの目に見えない無害の光です。レーザーフォーカス機能は、シーンの変化に合わせて継続的にフォーカスを確認します。カメラはすでに被写体までの距離を把握しているため、探索を開始する場所がわかっており、コマ数数秒以内にすべての処理を自動的に実行します。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。